

トップ
コミットメントサステナビリティ
推進体制JFRの
マテリアリティ低炭素社会への
貢献サプライチェーン
全体のマネジメント地域社会との
共生ダイバーシティ
の推進ワーク・ライフ・
バランスの実現事業会社の
ESGの取り組み社外取締役
メッセージ

ガバナンス

データ集

育児・介護と仕事の両立 生産性向上への取り組み → 健康経営の推進

健康経営の推進

健康保守・増進の取り組み

JFRグループは「従業員は会社にとって最大の財産であり、お客様によりよいサービスを提供するためには、まず従業員が心身ともに健康であることが何よりも大切である」との基本的な考え方にに基づき、労働安全衛生の徹底、従業員の健康保持・増進の取り組みを推進しています。65歳定年延長に向けても、従業員の健康管理は必須であり、健康保険組合と連携して生活習慣病予防、メンタルヘルスケアに重点を置いて推進しています。

生活習慣病予防と婦人科検診、PSA検査の導入

JFRグループは、生活習慣病予防については、一般の定期健康診断はもとより、特定健康診査の項目を包含した生活習慣病予防健診を、35歳以上に対象を拡大して実施しています。また、乳がんや子宮がんの婦人科検診、50歳以上の男性を対象にしたPSA検査を導入しています。これらの健診データをもとに個人々人に対して産業医による保健指導を実施するとともに、事業所ごとに健康課題・目標を設定し、改善に向けて各種施策を実施しています。

定期健康診断受診率(大丸松坂屋百貨店)

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
対象者数	6,917人	6,529人	6,551人	6,337人	5,223人
受診者数	6,907人	6,499人	6,530人	6,320人	5,216人
受診率	99.9%	99.5%	99.7%	99.7%	99.9%

メンタルヘルスケア

JFRグループは、2016年度からWEB調査を活用したストレス指標の調査および結果フォローを行っています。さらに、法令で定められているストレス調査に加え、組織診断アンケートの結果を踏まえて、各事業会社の主管者や人事担当者へフィードバックし、従業員自身のセルフケアはもとより、いきいきと働くことができる職場環境の実現に向けた取り組みを推進しています。

ストレスチェック実施実績(大丸松坂屋百貨店)

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
対象者数	3,655人	3,558人	3,260人	3,293人	3,247人
回答者数	3,176人	3,035人	3,064人	3,159人	3,129人
回答率	86.9%	85.3%	94.0%	95.9%	96.4%

2018年度健康白書作成

J.フロント健康保険組合では、被保険者等の健康保持・増進を効果的・効率的に実施するため、厚労省等による「健康スコアリングレポート」*の発刊を機として、会社と連携して保有する健診データ等を各事業会社の性別、年齢別等に集約・分析した結果を見える化し、2018年度「健康白書」として編集しました。

具体的には、被保険者の健康診断の受診状況、生活習慣リスク保有者状況、適切な生活習慣実施状況、医療費状況

に関するデータを集計・分析し、J.フロント健康保険組合と事業会社との間で共有しています。

「健康白書」は、継続して作成し、前年比較による改善状況を確認する指標として活用していきます。また「健康白書」によって明らかになった課題を踏まえ、各事業会社と健康保険組合が連携して従業員の健康づくりを推進していきます。



※ 健康スコアリングレポート:厚生労働省、経済産業省、日本健康会議三者が連携し、各健保組合の加入者の健康状態や医療費、予防・健康づくりへの取組状況等について、全健保組合平均や業態平均と比較したデータを見える化したもの。

社外からの評価

●DBJ健康経営(ヘルスマネジメント)格付取得(2018年)

「従業員の健康配慮への取り組みが優れている企業」という格付を取得しました。



社外からの評価

●健康経営優良法人2019ホワイト500認定(2019年)

健康経営の取り組みが評価され、認定を取得しました。

